オスプレイとは

オスプレイは、米海兵隊普天間基地に配備されている CH46 中型輸送ヘリの後継機。ローター（回転翼）のモードを変えて、固定翼機とヘリコプターの両方の機能を持ち合わせる輸送機。短距離での離着陸や、豊富な輸送力と飛行能力を併せ持ち、多様な軍事作戦に対応するために開発された「殴り込み部隊」の軍用機です。

危険なオスプレイの配備撤回を！

日米両政府はことし（2012年）、MV22オスプレイを、沖縄県宜野湾市の普天間基地に配備するとともに、山口県の岩国基地や静岡県のキャンプ富士などに分遣隊を置いて、沖縄と日本全土で、低空飛行を含む訓練をおこなう計画です。

「普天間飛行場へのオスプレイ配備等に反対し、固定化を許さず早期閉鎖・返還を求める宜野湾市民大会」
2012年6月17日（宜野湾市・屋外劇場）

日本国民の人権は アメリカのコウモリ以下？

アメリカ・カリフォルニア州では、オスプレイについて2000 年から９年間にわたり環境影響評価調査がおこなわれています。また、2014 年に配備を計画しているハワイ州でも同様の調査が進行中ですが、絶滅危惧種のコウモリが確認され、飛行が生態に影響する恐れがあるとして、米政府の環境保護機関と緩和策を協議するとしています。日本国民の人権は、アメリカのコウモリ以下なのでしょうか？

専門家も墜落の危険性を指摘

アメリカ政府直属の国防分析研究所でオスプレイの分析・評価に従事したアーサー・レックス・リボロ氏は、MV22 オスプレイは「オートローテーション能力を欠いている」と証言しています。オートローテーションとは、ヘリコプターが空中でエンジンを停止した際、落下時の下方からの気流を利用し、ローターを回転させて揚力を得ることにより、安全に着陸するための機能と操縦技術のこと。

リボロ氏は「安全にオートローテートできないことは、今ではメーカーも海兵隊も承知している」と証言。エンジンが停止した場合、航空機モードへの切り替えには 12 秒要し、488mの高度を失うと、墜落の危険を訴えています。

安保破棄中央実行委員会

〒101-0061　東京都千代田区三崎町 2-11-13

電話：03-3264-4764　　E-mail：anpohaiki@nifty.com

危険な米軍輸送機オスプレイの配備撤回を

2012年　　月

内閣総理大臣　野田佳彦　様

【要請趣旨】

日米両政府は、国民の強い反対を無視して、米海兵隊の輸送機 MV22 オスプレイの沖縄・普天間基地への配備をすすめようとしています。

オスプレイは、開発段階から何度も墜落事故を繰り返し、ことし４月にモロッコでの墜落事故で２名が死亡したのに続いて、６月 14 日にもアメリカ・フロリダ州で墜落するなど、これまでに少なくとも 36 人が死亡しており、欠陥機であることが世界に知られています。

オスプレイ配備が強行されれば、「世界一危険な」普天間基地を抱える宜野湾市民への危険が増すだけでなく、米軍ヘリパッド建設が強行されようとしている東村高江など沖縄県内の各基地で運用され、県民全体への危険はいっそう重大なものとなります。

沖縄では、６月 17 日には 5200 人の参加で宜野湾市民大会が開かれるとともに、６月 20 日までに県議会と 41 の全市町村議会が反対を決議しています。

さらに米軍は、オスプレイを山口県の岩国基地や静岡県のキャンプ富士に分遣隊を派遣して、東北、北信越、近畿・四国、沖縄・奄美など６つのルートで高度 150 メートルの低空飛行を含む訓練など、沖縄と日本本土のあらゆる場所での訓練を想定しています。このように、沖縄県民と国民を危険にさらすオスプレイの配備を強行することは許されません。

私たちは、下記事項の実現を求めます。

【請願項目】

●政府は、オスプレイ配備の中止をアメリカに求めること。

氏　　名	住　　所

取り扱い団体

【送付先】安保破棄中央実行委員会　〒101-0061　東京都千代田区三崎町 2-11-13